

# みやこんじょ



## No.64

発行日 令和3年8月1日  
 発行 独立行政法人国立病院機構  
 都城医療センター  
 宮崎県都城市祝吉町5033番地1  
 TEL 0986-23-4111

基本  
 理念

高度で良質な医療を提供し、病む人々が安心して、信頼できる病院をめざします

## 神経内科の紹介



神経内科  
 杉山 崇史

「神経内科をご存知ですか？」という一面広告を某全国紙にのせてアピールをする必要があるくらいマイナーな印象のある神経内科ですが、宮崎県においては特に専門医の数が少なく、大学病院以外では、あまりなじみのない診療科かもしれません。縁がありまして、2021年5月から当院で神経内科を開設させていただくこととなりました。みなさまが積極的にサポートしてくださったおかげで、順調なスタートを切ることができました。ありがとうございました。

脳神経内科が扱う病気と言えば、治らない、分からない、諦めない、といった特徴を想像されると思います。これまで神経変性疾患を中心とした難病を扱う診療科というイメージを強く持たれていたことに起因していると考えられます。しかし、脳卒中や認知症といった一般的な病気も本来は脳神経内科が担当する分野であり、頭痛やしびれといったありふれた症状も我々が得意としている分野です。

毎週木曜日の外来のみであり、脳梗塞の入院加療まで対応することは現実的にできません。しかし、頭部MRIで偶然見つかった病変、震えなどの不随意運動、認知機能の低下、頭痛やしびれ、器質的疾患に起因した精神症状などについて、診断から治療まで可能な限り対応したいと考えています。

神経は全身に張り巡らされており、不可解なものも含めて様々な症状の原因となりえます。少しでも神経に関連がありそうだと考えられる症状がありましたら、まずは診察して考えますので気軽に声をかけていただくと幸いです。一所懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。

(神経内科 杉山 崇史)



# 医療安全推進への取り組み

## ～医療安全推進カレンダーを作成して～

都城医療センター 医療安全管理部  
看護師長 北野 喜恵  
副院長 駒田 直人



**6**  
June  
2021

一に挨拶  
二に患者確認  
三四で消毒  
五で安心😊

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

**7 July**



**8 August**



SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

報連相 チームプレイで 事故防止



【GR 何が何でも GR】

医療安全推進  
カレンダー作成  
の始まりは、医  
療安全推進週間  
(いい医療に向  
かってGO) の  
11月25日に合  
わせ、医療安全

推進の一環として、各部署から医療安全を意識した「あいうえお作文」を作成し、それを標語として、各部署に掲示をしていました。しかし、ただ掲示するだけではもったいない、「病院、職場の様子、医療に携わるスタッフの医療安全に対する姿勢や雰囲気を変えたい。」という声と思いが募り、何か形ある物、毎日見る物は何かを考え、前任の医療安全係長時代から医療安全推進カレンダー作成に取り組んできました。年度初めの4月開始のカレンダーにしているのは、地域の医療機関へ



【確認は いつでも「密に」】

医師の異動等で  
新体制を迎える  
ご挨拶を兼ね、  
当院を知って頂  
きたいという思  
いから心を込め  
て発送していま  
す。

毎年、院長、事務部長、看護部長はじめ幹部の皆様  
の温かい支援の元、医療安全推進カレンダーを作成さ  
せて頂いています。

医療安全推進カレンダーに掲載している標語に関し  
ては、「あいうえお作文」から、つい日常的に発したく  
なるような俳句形式の「575」にしました。多少字余り  
もありますが、毎年、スタッフから100以上の作品の  
応募があり、その中から厳選なる投票を行い、選出し  
た標語を掲載しています。その年らしい標語が沢山集  
まってきます。

当院のスタッフの反応としては、「私たちが頑張っ  
ている姿をアピールしたい。」や「暗くなるイメージを払  
拭きたい。」また、他の施設へ出向いた際、「うちの病院  
(当院)のカレンダーがスタッフステーションにかけて  
あった。やっぱりいいですね。」や他の施設で勤務する  
友人から、「カレンダーに写真出たね。がんばってる  
ね。」と励ましの  
言葉があり、嬉  
しかったと好評  
でした。

地域の医療機  
関の方からは、  
「標語が今の時  
世に合ってい

る。」や「病院の雰囲気がよくわかります。」などの医療  
安全への取り組み、関心について理解をいただけるこ  
とも繋がったと考えます。残念なことに、医療安全  
推進カレンダーを掲示する場所が、ほとんどスタッ  
フステーションであるため、患者さんからの反応は少な  
いのが現状ですが、写真撮影の際など協力的に参加し  
ていただけています。

今後も、『高度で良質な医療を提供し、病む人々が安  
心し、信頼できる病院を目指す』病院理念に沿った、病  
院スタッフの思いを込めた医療安全推進カレンダーの作  
成を行っていきたいと思います。



【声かけは 労いと 感謝から】

## 永年勤続表彰



氏名：副島 一隆

勤務部署：管理課長

**30年表彰をうけて：**永年勤続の表彰を賜り、誠にありがとうございます。これまで赴任した先々で多くの方々にご指導を賜り、支えていただきながら働くことが出来ました。これからも感謝の気持ちを忘れずに、より一層頑張っていきたいと思えます。

氏名：有元 友範

勤務部署：経営企画室長

**30年表彰をうけて：**勤続30年という節目を迎えられました。これもひとえにまわりの皆様のおかげと感謝しております。今後ともよろしくお願い致します。

氏名：山中 真弓

勤務部署：教育主事

**30年表彰をうけて：**周囲の皆様から多くの支えを頂いたことに感謝し、今後も精進したいと思います

氏名：松本 恵美子

勤務部署：臨床検査技師長

**30年表彰をうけて：**国立病院時代に正式に採用され早30年が経過し、これまでに5施設で働かせていただきました。採用当時、子育て真只中で大変でしたが、色々教えていただき私自身成長することができ、今は楽しかったことばかりが思い出されます。転勤で出会った同僚や多職種の皆様、そして家族に支えられスキルアップしながら働くことができました。本当に感謝です。残りわずかですが、都城医療センターのお役に立てよう中央検査部スタッフと一緒に頑張っていきたいと思えます。

氏名：櫻木 良子

勤務部署：3病棟看護師

**30年表彰をうけて：**光陰矢のごとし。大病もせずここまで仕事を継続できました。家族仲間へ感謝。ありがとうございました。

氏名：松元 俊博

勤務部署：薬剤部長

**20年表彰をうけて：**職場の多くの皆様方や家族の支えにより、充実した20年、心から感謝申し上げます。今後とも微力ながら日々精進したいと思えます。

氏名：仮上 透

勤務部署：理学療法士長

**20年表彰をうけて：**民間病院を経て星塚敬愛園に入職しました。それからもう20年経過したと、今回の表彰で知り、びっくりしております。まだまだ若輩者ですが、これからも患者が満足できるようなサービス提供が出来るように努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

氏名：赤尾 綾子

勤務部署：外来師長

**20年表彰をうけて：**表彰頂きありがとうございます。今後も体を労わりながら勤めてまいります。

氏名：小倉 裕香

勤務部署：看護学校教員

**20年表彰をうけて：**今回、永年勤続20年をむかえたことで、地域の方々や学生支援のために、さらに貢献できるよう努めていきたいと思えました。

氏名：久留 裕子

勤務部署：3病棟看護師

**20年表彰をうけて：**今回表彰されたことうれしく思います。まずは、健康で仕事できたこと、沢山のスタッフの皆様へ支えられてここまでこれたと思います。感謝します。今後も元気で頑張りたいです。

氏名：廣底 茂

勤務部署：庶務係

**20年表彰をうけて：**表彰いただきありがとうございます。これからも感謝を忘れず頑張ります。

# 連携医療機関のご紹介

## 財部記念病院

住所：鹿児島県曾於市財部町南俣 3619 番地 1

電話：0986-72-1000

FAX：0986-72-1177

診療科目：内科・胃腸科・リハビリテーション科・  
循環器科・泌尿器科

休診日：土曜午後、日曜・祝日

※但し、急患はこの限りではありません。

院長 谷川 誠 先生



当院は曾於市財部町にて外来診療と共に介護医療院、医療療養病床、グループホーム、血液透析等の業務を行っています。スタッフの努力により最近是他院との連携も良くなり、ようやく医療センター等の大きな病院からも患者さんの紹介を頂けるようになりました。私が来た当時はC型肝炎の患者さんがとても多いのに驚きました。その中から毎年肝癌の発症がありました。ここ数年は肝臓外来にて治療してもらい、多くの方がウイルスが消失しC型肝炎からの肝癌の発症は見られなくなりました。多くの方々が救われ医療センターには感謝しています。

また、町内の事業所には外国の研修生達も増えてきています。その方々の



検診では国家試験の時にしか知らなかった東南アジア特有の病気等にも遭遇し私達では解決できず医療センターにお願いすることも増えてきました。

外来患者の殆どが高齢者の方であり都市部の病院を受診するのが困難であり、どのタイミングで紹介するか苦労しています。

## 看護の日

令和3年5月12(水)



看護学校では「看護の心、感謝の心、助け合いの心」について改めて考えるために、看護の日の活動に取り組みました。今年は、新型コロナウイルス患者の受け入れ施設である母体病院の在宅サポート病棟 看護師の坂下 亜季美先生、荒川 由紀子先生に、「臨床における新型コロナウイルスへ対応と看護の実際」というテーマで特別公演を行っていただきました。

今までニュースなどの情報でしか新型コロナウイルス感染の現状が分かりませんでした。今回事例を用いて話していただき、より鮮明な現状を知れて良かったです。今まで以上に感染対策をしなければいけないと思いました。感染者の受け入れにあたって、1からマニュアルやパンフレットを作ることや上手くいかなかった時にカンファレンスを重ね、自分たちで解決していてすごいと思いました。今回の講演を聞き、自分も臨機応変に対応できる看護師になりたいと思いました。

受け入れ要請があつて大変な中、お話をしてくださって本当にありがとうございました。

(1年生 安藤 茉鈴愛)



病棟でのコロナウイルス患者への看護師の対応が事例を通してよく分かりました。そのような場面で、自分だったらどうするかと考えてみましたが、答えられない事例がいくつもありました。常に対応したことのないことに直面し続けても前を向く看護師さんの話を聞き、自分もそのような人になりたいと感じました。本日は、貴重なお話をありがとうございました。

(2年生 梅元 祐皐)

今回、特別講演を聞いてコロナウイルス感染者への看護の現状を詳しく知ることができました。私は実際に PPE を装着したのですが、とても蒸し暑くて動きにくいので、患者にケアを行うのは



とても負担がかかるのではないかと思います。入院しているのは高齢者であったり、認知症を患っていたりして、倫理的なジレンマを抱えながらのケアはとても大変だと思いました。そんな中でも、4病棟の看護師同士で協力して、患者の心に寄り添うケアを行っていたことに感動しました。私も、どんな状況でも患者に寄り添い、信頼される看護師になるために、実習や日々の学習を頑張ります。

(3年生 石井 優月)

外来診療科別週間担当医当番表 独立行政法人 都城医療センター 国立病院機構

【全診療科 初診予約制】 受付時間 8:30 ~ 11:00

【2021年6月1日】

Table with columns for medical department (診療科名等), day of the week (月曜日, 火曜日, 水曜日, 木曜日, 金曜日), and specific doctors (e.g., 血液, 肝, 加藤 順也, etc.).

※1 全診療科初診予約制となりますので、事前に診療FAX連絡票にてご連絡頂きますようお願いいたします。
※2 医療機関の方へ:血液内科、リウマチ科の初診については、事前に初診紹介予約申込書と共に、最新の血液データを送ってください。

【地域医療連携室・がん相談支援センター】フリーダイヤル (0120) 411-329 FAX (0986) 26-1893



独立行政法人 国立病院機構

都城医療センター (地域がん診療連携拠点病院・地域周産期母子医療センター)

〒885-0014 宮崎県都城市祝吉町5033番地1
TEL/0986-23-4111(代表) FAX/0986-24-3864
E-mail/621-miyakonojo@mail.hosp.go.jp http://www.nho-miyakon.jp
編集発行: 広報委員会